

**製品名: CD93 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08488**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110-120kDa

**抗原情報**

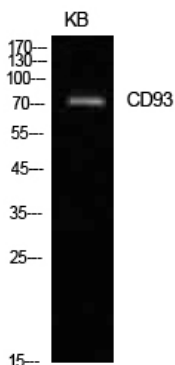
遺伝子名	CD93
別名	CD93; C1QR1; MXRA4; Complement component C1q receptor; C1q/MBL/SPA receptor; C1qR; C1qR(p); C1qRp; CDw93; Complement component 1 q subcomponent receptor 1; Matrix-remodeling-associated protein 4; CD93
遺伝子 ID	22918.0
SwissProt ID	Q9NPY3
免疫原	抗血清はヒト CD93 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

## 背景

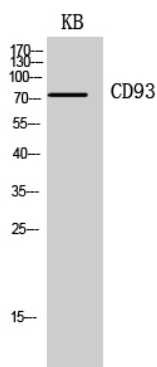
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞表面糖タンパク質であり、I型膜タンパク質で、もともと骨髄細胞特異的マーカーとして同定されました。コードされるタンパク質はかつて C1q の受容体と考えられていましたが、現在では細胞間接着とアポトーシス細胞の除去に関与していると考えられています。このタンパク質の細胞内細胞質末端は、膜貫通タンパク質を細胞骨格に結合させ、細胞骨格のリモデリングに関与することが知られているタンパク質であるモエシンと相互作用することが分かっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：コレクチン受容体と呼ばれることもあります。、注意：PubMed:11994479 では、C1q は C1QR1 のリガンドではないことが報告されています。機能：C1q、マンノース結合レクチン (MBL2)、および肺サーファクタントタンパク質 A (SPA) の受容体 (またはより大きな受容体複合体の要素)。可溶性防御コラーゲンと相互作用することで、単球およびマクロファージにおける貪食作用の増強を媒介する可能性があります。細胞間接着に関与する可能性がある。、PTM：N 型および O 型グリコシル化。、類似性：C 型レクチンドメインを 1 つ含む。、類似性：EGF 様ドメインを 5 つ含む。、サブユニット：HCV コアタンパク質と相互作用する。、組織特異性：内皮細胞、血小板、単球や好中球などの骨髄系細胞に高発現する。リンパ系細胞には発現しない。、

## 研究分野

## 画像データ



CD93 ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



CD93 ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。